

令和3年度 第1四半期 (4月～6月)

# 景気動向調査結果報告

豊橋商工会議所 ビジネスサポートセンター

全産業業況 DI 値は前回調査から 21.8 ポイント改善、  
令和2年度第1四半期からは 57.5 ポイント改善

## ■全業種概要

全産業の総合判断 DI 値は▲6.3 (前期比+21.8  
前年同期比+57.5)、来期見通し (7月～9月) につ  
いては▲12.7 (当期比▲6.4) となった。

コロナ禍においてマイナス圏ながらも、自動車や  
工作機械分野での回復傾向や巣ごもり需要の影響な  
どで、全産業 DI 値は4期連続でプラスに転じた。  
一方、来期の見通しについては、前期に引き続き燃  
料費や原材料費の高騰、半導体不足の影響を不安視  
する声が聞かれた。

設備投資については、「実施した」との回答が 33.9  
(前期比▲4.4、前年同期比±0.0)、来期に設備投資  
を「計画している」との回答は 37.7 (当期比+3.8)  
となった。

## ■製造業

業況 DI 値は+8.5 (前期比+27.3、前年同期比+  
77.9)、来期の見通しについては+3.7 (当期比▲4.8)  
となった。

繊維産業、印刷業では厳しい業況が続いているが、自  
動車部品、工作機械製造業において回復傾向が見られ  
DI 値は平成30年第3四半期以来のプラスに転じた。  
来期見通しについては、原材料不足や価格の上昇を懸  
念する声が聞かれた。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「原材料  
価格の上昇」「生産設備の不足・老朽化」が主に挙げ  
られる。

## ■建設業

業況 DI 値は▲12.0 (前期比+16.0、前年同期比+  
30.9)、来期の見通しについては▲8.0 (当期比+4.0)  
となった。

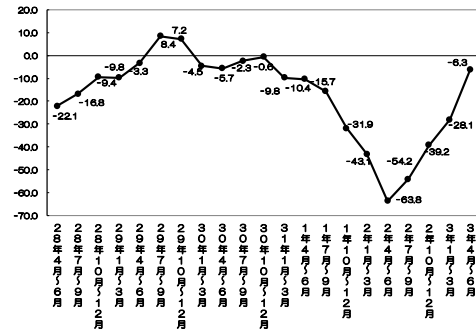
住宅や店舗リフォームなど小規模工事の受注が増えて  
いるといった声が聞かれる一方で、公共・民間ともに受  
注の停滞感が強い。来期見通しについても、長期化する  
コロナ禍で公共・民間ともに工事需要停滞を不安視す  
る声が多く聞かれた。

経営上の問題点としては、「官公庁需要の停滞」、  
「民間需要の停滞」、「従業員の確保難」が主に挙げら  
れる。

## 調査概要

- 調査対象
  - (1)対象地区：豊橋市内
  - (2)対象企業数：333社
  - (3)回答企業数：173社 (回答率 51.95%)
- 調査期間  
令和3年4月～6月
- 調査方法  
往復はがきによるアンケート調査
- 回答企業の内訳  
製造業 81・建設業 25・卸売業 18  
小売業 22・運輸業 14・サービス業 13

## 全業種



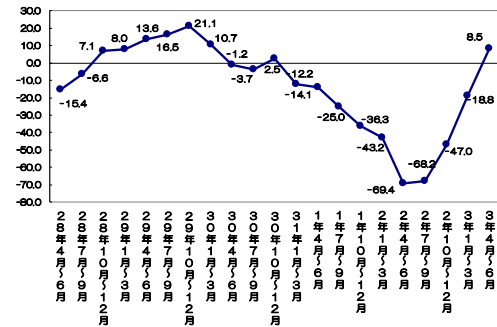
【A】前年同期 (令和2年4月～6月) と比較した景況感

良い	同様	悪い	DI 値	↑
27.0%	39.7%	33.3%	▲6.3	

【B】来期 (令和3年7月～9月) の景況見通し

良い	同様	悪い	DI 値	↑
19.1%	49.1%	31.8%	▲12.7	

## 製造業



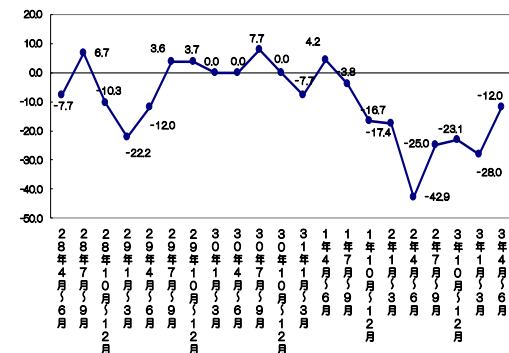
【前年同期比】 令和3年4～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況	8.5	↑
-------	-----	---

自社の業況	3.7	↓
-------	-----	---

## 建設業



【前年同期比】 令和3年4～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況	▲12.0	↑
-------	-------	---

自社の業況	▲8.0	↑
-------	------	---

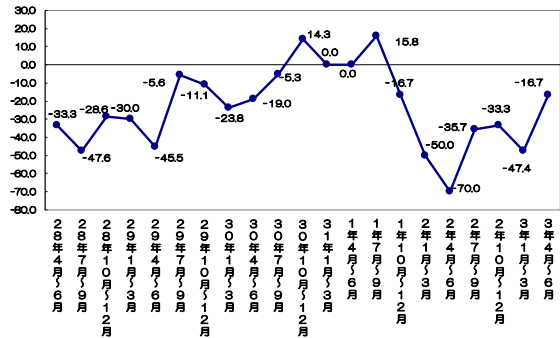
## ■卸売業

業況 DI 値は▲16.7（前期比+30.7、前年同期比+53.3）、来期の見通しについては▲16.7（当期比±0.0）となった。

飲食関連において、まん延防止措置、緊急事態宣言下では売上が上がらないとの声が多く聞かれ、その他一般的には原材料価格の高騰を懸念する声が多かった。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「仕入価格の上昇」、「販売価格の低下・上昇難」、「従業員の確保難」が主に挙げられる。

## 卸売業



【前年同期比】 令和3年4～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況

▲16.7 ↑

自社の業況

▲16.7 →

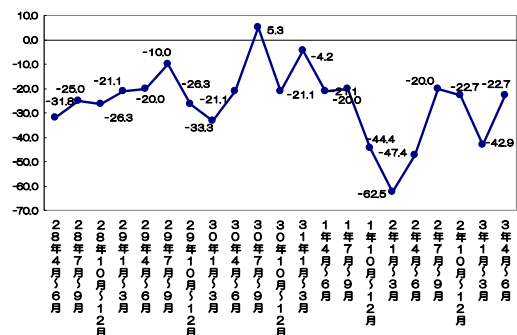
## ■小売業

業況 DI 値は▲22.7（前期比+20.2、前年同期比+24.7）、来期の見通しについては▲45.5（当期比▲22.8）となった。

一般的に客足が戻りつつあるとの声が聞かれる一方で、買い控えや価格競争の激化を懸念する声が多かった。また来期見通しについて、ワクチン効果による来店・購買意欲の向上を期待する声が多かった。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「消費者・製品ニーズの変化への対応」、「従業員の確保難」が主に挙げられる。

## 小売業



【前年同期比】 令和3年3～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況

▲22.7 ↑

自社の業況

▲45.5 ↓

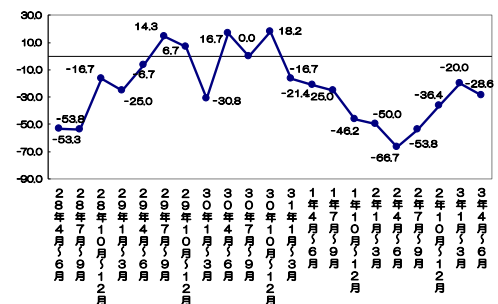
## ■運輸業

業況 DI 値は▲28.6（前期比▲8.6、前年同期比+38.1）、来期の見通しについては▲42.9（当期比▲14.3）となった。

単ごもり需要などから食品需要は好調との声が聞かれる一方で、工業製品などでは荷動きにばらつきが見られる。その他、燃料費の高騰による費用の増加を不安視する声などが聞かれた。

経営上の問題点としては「従業員の確保難」、「需要の停滞」、「運送単価の低下・上昇難」が主に挙げられる。

## 運輸業



【前年同期比】 令和3年4～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況

▲28.6 ↑

自社の業況

▲42.9 ↓

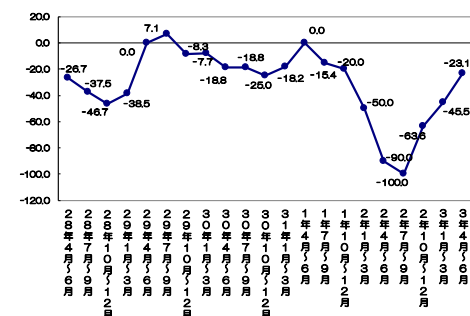
## ■サービス業

業況 DI 値は▲23.1（前期比+22.4、前年同期比+66.9）、来期の見通しについては▲30.8（当期比▲7.7）となった。

飲食業では、感染拡大防止のため酒類提供の自粛と時短要請により売上が減少。来期の見通しとしては、ワクチン接種の普及による需要回復を望む声が多く聞かれた。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「従業員の確保難」、「人件費の増加」が主に挙げられる。

## サービス業



前年同期比】 令和3年3～6月

【来期見通し】 令和3年7～9月

自社の業況

▲23.1 ↑

自社の業況

▲30.8 ↓